

平成26年度 第1回吉井地域審議会における質疑一覧 [平成26年6月6日開催]

1 吉井地域の事業推進状況に係る質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
吉井中央公園(仮称)整備事業について	1	平成26年度の事業予定は、実施設計委託等であり、具体的な設備等は次年度以降に図面検討が行われると思うが、身体障害者や高齢者の使用に対して「バリアフリー」を基本に設計していただきたい。 具体的手段に「防災機能を高める為の緑化等」と記載されているが、公園への避難道路等も高齢者や身体障害者に対応できるようにしていただきたい。	子供からお年寄りまで誰もが自由に利用できるよう、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、バリアフリーに対応した公園整備を行い、またアクセス道路の歩道はフラット型構造として、高齢者や障害者に優しい道路整備を行う。
吉井地域総合福祉センター(仮称)建設事業について	1	現在、使用できる時間帯が、月曜日から土曜日の昼間となっているが、夜間も使用できるとボランティア等で活動するのに大変ありがたい。今後、夜間でも利用できるように検討していただきたい。	開館から2ヶ月が経過し、利用者から様々なご意見をいただいている。こうしたご意見を関係課と様々な角度から調整しながら、今後の検討課題とし、要望に沿えるような方向で検討を進めていきたい。

2 その他の質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録に向けた観光客の集客について	1	富岡製糸場と絹産業遺産群の世界遺産登録が決定的となった今、これに集まる観光客をただ素通りさせないで足を止めさせるための対策をどのように考えているのか。 (次項へ続く)	富岡製糸場の世界遺産登録や2020年の東京オリンピックに向けて、本市では高崎新観光戦略懇談会を昨年11月に設置した。懇談会では吉井地域の多胡碑や牛伏山など、豊かな(次項へ続く)

事業名	No.	質 疑	回 答
		(前項の続き) 例えば「多胡碑」、「牛伏山」、「吉井物産センター」などに立ち寄ってもらうための工夫や対策はどうか。	(前項の続き) 自然や歴史文化に恵まれた資源を活かした観光戦略についても研究が進められている。
山種記念吉井図書館について	1	山種記念吉井図書館の今後について	山種記念吉井図書館については、現在の建物を利用者の利便性を向上させるよう、改修していきたい。
	2	老朽化するなかで、耐震補強などの安全面について今後の考えを伺います。	市民が利用する施設であり、整備を検討するなかで充分考慮していきたい。
吉井地域の学校給食の改善について	1	吉井地域の学校給食は、現在給食センターである。旧市内は「自校給食」、榛名地域等は「親子制度方式」で「自校給食」に近い方式で実施している。吉井地域の子供にも、現状より充実した給食を食べられるように、「親子制度方式」を取り入れるため、早急に設備や人員の確保をお願いします。	自校方式への移行については、給食センターの老朽化や校舎の改築を考慮しながらすすめることを基本方針としている。このような中で、食育を充実できるよう、栄養教諭を配置し、直接指導ができるような体制づくりに努めている。
	2	自校給食を食べさせてあげたいという要望が父兄の方からある。自校給食に、具体的にいつ頃になるのか、無理なのか、教えていただきたい。	教育施設では、耐震補強工事と空調設備工事を、26、27年で集中的に進めている。こうした事業が終了した後、次の事業を検討していく。現在は、学校給食センターと自校方式とで変わりのない給食が提供出来るように努めている。